

原子力機構 核燃料サイクル工学研究所 プルトニウム燃料第三開発室 における分電盤内の焦げ跡の確認に係る立入調査結果について

令和7年5月23日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和7年5月23日に核燃料サイクル工学研究所において火災が発生したことについて、
県は、同日、東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

1 実施日時

令和7年5月23日（金） 13時15分～14時30分

2 実施者

県、東海村

3 立入調査結果

以下のことについて、聞き取り及び現場調査で確認した。また、火災が発生した分電盤を確認した。

○ 環境影響

- ・ 火災事象発生前後におけるモニタリングポスト等の値に異常がなく、周辺環境への影響は認められない。

○ 施設等への影響

- ・ 焦げ跡を発見した分電盤は、管理区域内に設置されたものであるが、原子力施設への影響はない。
- ・ 本事象は、排気ガスモニタ関連設備の分電盤における焦げ跡であり、周辺の設備、建屋への影響は確認されていない。

○ 現在の措置状況

- ・ 焦げ跡が発見された分電盤の電源系統の上流側において、通電を遮断する措置が取られている。

4 要請事項

立入調査後、以下のとおり要請を行った。

- ・ 早急に原因究明や再発防止対策の検討を進め、進捗について適宜報告すること。

5 今後の予定

原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を受け、必要に応じて立入調査等に対応状況を確認していく。